

# 災害時の事業継続協力

## 旭川の静岡の企業と協定 エフ・イー

旭川市の農業機械製造業エフ・イー（佐々木通彦社長）は20日、大地震などの災害時に事業を継続するため、静岡県藤枝市の機械製造業西光エンジニアリング（岡村邦康社長）と相互応援協定を締結した。災害時の事業継続の枠組みを定めた事業継続計画（BCP）に基づく協定。エフ・イーによると、旭川の製造業では初めて。

調印式で握手を交わす佐々木社長（右）と岡村社長



業が生産設備や技術を提供し、事業継続に協力する。災害に備え機械設計図や顧客データなどは両社で共有、人材交流なども進める。BCPは、東海地震の恐れがある静岡を拠点とする西光エンジニアリングが策定。今夏、エフ・イーと業務提携の協議をする中で、災害対応の必要性で考えが一致したという。

両社長は同日、エフ・イー本社で相互応援協定と業務提携契約を結んだ。佐々木社長は「自然災害の少ない旭川と静岡の企業の結びつきを、地域経済の活性化につなげたい」と述べ、岡村社長は「日頃の業務でも連携を深めていきたく

い」と期待を込めた。  
（鈴木雄二）